

事業所名	子育てステーション こでまり α	事業所理念
作成年月日	2024. 10. 1	こどもにとって ・安心安全の場 保護者にとって ・やすらぎの場 スタッフにとって ・学びの場 ・自己研鑽の場 ・成長の場 ・自分を知り、自分の存在価値を認めることができるようになる場 ・心のよりどころとなる場
営業時間	平日 10：00～19：00（開所時間 13：00～19：00） 学校休業日 10：00～19：00（開所時間 13：00～19：00）	
送迎の有無	平日 来所：学校等への迎えあり 帰所：保護者迎え 学校休業日 来所：自宅等への迎えあり 帰所：保護者迎え	
職員の質の向上に資する取組	内部・外部の職員研修への参加、定期的なミーティング	支援方針
行事・季節の活動等	買物、休日お楽しみイベント、外出遊び等	小集団での活動を通して、コミュニケーション力・ソーシャルスキルの向上をはかり、お子さん一人一人の特性に応じた支援をします。 保護者様の要望に応じて、学校や関係機関と連絡・相談をしながら、お子さんやご家族のメンタルサポートにも力を入れています。

発達支援	＜ 発達を目指して取り組んでいく内容 ＞		＜ 取り組む支援の内容 ＞	
人間関係・社会性	○ 自分の得意なことや苦手なこと、自分の行動の特徴などの自己理解を深める。 ○ コミュニケーションスキルの向上により、他者との安定した対人関係が図れる。 ○ 友だちと、話したり一緒に行動する喜びを得る。		○ 自己肯定感が高まるよう、ストレングスを評価・賞賛する支援をします。 ○ 様々な他者との活動により、自分の得意なことや好きなこと、苦手なことやできないことが理解できるよう支援します。 ○ 活動（療育）により、集団での活動の喜びや、友達ができる喜びが得られるよう環境や状況を設定し支援します。	
言語・コミュニケーション	○ 言語や語彙の習得により、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりできる。 ○ 自分の感情について理解し、感情を適切な方法で表現できる。 ○ 他者と話し、自分の思いを伝えることや、会話が続いていく喜びを得る。		○ それぞれの課題に応じた学習プリント（こでまりプリント）に取り組むことで、言語・語彙力の向上を支援します。 ○ 日頃の会話の中に、感情を意識した話題提供を行い、自分の感情を意識・理解して適切に表現できるよう支援します。 ○ 話しかけてもらえたり、話しかけることができる友達ができ、会話する喜びや楽しさを感じられるよう支援します。	
認知・行動	○ 自分の感覚や認知の偏りを意識・理解できる。 ○ 自分の行動の特性や課題について意識・理解できる。 ○ 環境からの情報を適切に認知し、適切な行動ができる。		○ 様々な他者との関りにより、自分の特有の感覚や認知の偏りに気づき理解できるよう、環境を設定して支援します。 ○ 偏った行動や不適切な行動について、不適切な理由や、より良い行動について、個別面接等で支援します。 ○ 自分の認知・行動の特性を理解し、集団内の様々な場面で、不適切行動とならないよう適応力を高める支援をします。	
運動・感覚	○ 自分の感覚（過敏や鈍麻など）やそれに伴う行動をコントロールできる。 ○ 運動したり、身体を動かすことの大切さを理解して活動できる。 ○ スポーツや運動で、楽しみながら身体・運動機能を高められる。		○ 寒暖による服装の調節や、感覚刺激を意識した活動等により、自分の特性が意識・理解できるよう支援します。 ○ 運動したり、身体を動かすことが、意欲などの心理面に連動していることが理解できるよう支援します。 ○ 屋内外でのスポーツや運動をとおして、楽しみながら身体・運動機能が向上できるよう支援します。	
健康・生活	○ 健康の大切さを理解し、健康な状態を維持できる。 ○ 基本的生活習慣を獲得し、自ら生活環境を整える。 ○ 自ら意識して生活リズムを整え、安定した日常生活ができる。		○ 来所時の検温や体調の確認、随時の手洗い指導等で、健康維持を支援します。 ○ 日頃の会話の中で、食事や睡眠、運動の大切さについて話し、健康の維持を意識・理解できるよう支援します。 ○ 休日の過ごし方や登校状況、家族や友人らとの交流状況等について会話し、生活全般について助言・支援します。	
移行支援	○ 利用終了後の新たな環境への不安を軽減する。 ○ 新たな環境に適応して生活できる。 ○ 地域社会での生活を楽しむ。		○ 利用終了後について、情報提供や様々なアドバイスにより、新たな環境への不安の軽減を支援します。 ○ 就学期終了後の就労先や、利用する福祉施設等と情報交換を行い、新たな環境への移行を支援します。 ○ 移行後も必要に応じ、面接や訪問により、新たな環境での適応について支援します。	
家族支援	○ 特性に配慮して、子どもの育ちを支えていける気持ちを維持する。 ○ 家庭の子育て環境の安定を図る。 ○ 家族の子育ての負担を軽減する。		○ 送迎時の情報交換や課題に関する連絡により、日常的な状態像を捉え、保護者と連携して支援します。 ○ 養育に関する個別面接や、課題に関する個別面接等により、子育て不安の軽減が図れるよう支援します。 ○ 関係機関と連携した支援体制の構築に協力して、子育て環境の安定を支援します。	
地域支援・地域連携	○ 地域の子育て支援に貢献する。 ○ 地域の関係機関と連携・協力する。		○ 利用契約に関すること以外でも、広く、子育てに関して、地域からの相談に応じます。 ○ 地域の障害者自立支援協議会や関係機関の研修会や連絡協議会への参加等で、地域の子育て支援の役割を強化します。	